

CRTラジオ栃木放送、開倫塾の時間、1月23日(土)放送内容資料：ピンチをチャンスに！  
これから1か月余り、入学試験と学年末試験、3大検定に向け、まっしぐらに突き進もう！  
各試験が終了したら、新学年の予習を徹底的に行おう！1学期の3大検定の準備しよう！

開倫塾

塾長 林 明夫

1. (1) 明日1月23日(土)午前9時15分～25分放送予定の、CRTラジオ栃木放送「開倫塾の時間」の放送内容資料です。録音は、本日1月22日(金)午前9時00分からラジオ局スタジオで行います。〈テーマ〉は、「ピンチをチャンスに！これから1か月余り、入学試験と学年末試験、3大検定に向け、まっしぐらに突き進もう！各試験が終了したら、新学年の予習を徹底的に行おう！1学期の3大検定の準備しよう！」です。
  - (2) 緊急事態宣言が出てはいますが、学校休校はありません。ただし、部活動は中止、学校行事や教科外教育活動は大幅に縮小、分散登校も始まりました。学校からの帰宅時間が早まり、家庭にいる時間が、例年と比べて大幅に増えています。よく考えれば、例年に比べ、家庭での勉強時間を大幅に増やすことができます。ピンチをチャンスに精神で、家庭学習にしっかり励みましょう。
  - (3) 今日は1月23日(土)、公立中高一貫校入試の一部や大学共通テストは終了しましたが、私立中学校入試、私立高校入試、大学独自入試、都立・県立高校入試等、多くの入学試験はこれから1か月余りの間に行われます。また、大学の学年末試験・後期試験は今が真っ最中で、小学校・中学校・高校の学年末試験は2月中旬以降に集中的に行われます。これから1か月余りは、入試と学年末試験が集中的に行われるといえます。また、3学期の英検、漢検、数学検定もこれから集中的に行われます。
2. (1) そこで、今日の「開倫塾の時間」では、緊急事態宣言下の学校早帰り等で、帰宅時間が早まりましたので、ピンチをチャンスにし、これからの1か月余りで入試と学年末試験、3大検定に真正面から立ち向かい、最善を尽くすにはどうしたらよいかをお話いたします。
  - (2) まず2月中旬の学年末試験対策についてお話します。これから30日近く時間があり、学校からの帰宅時間も早まっていますので、時間はたっぷりあります。時間はたっぷりありますが、学年末試験は今学んでいる教科のすべてが出題されますので、試験の日までに全部の教科の勉強が終わらないこともあります。1日1日、1時間1時間を大切にして、できるだけ多くの時間を、学年末試験の全教科の勉強のためにお使いになることを提案いたします。
  - (3) 学年末試験など定期試験対策のコツは、例えば中学生なら、9教科すべての学校の教科書、学校の問題集、学校の資料集、学校の授業ノートをゆっくり「音読」。1ページずつし

っかり、復習。書いてある内容をしっかり「理解」することが第一です。十分に「理解」できたら、「音読練習」「書き取り練習」をしっかりと行い、学校の教科書に書いてあることを、スミからスミまで一語残らず「覚える」ことです。

3. (1) 数学はどうするか。学校の教科書、学校の問題集のすべての問題を、もう一度「ノート」にやり直す。やり直して、なぜそのような解答になるか理解できない問題があったら、理解できるまで考える。解答解説を見てもよいから、書き写してもまいから、理解できるまで考える。それでもわからなければ、学校や開倫塾の先生に、遠慮しないで質問しましょう。そして、よくできなかつた問題の「番号」に印(マーク)をつけておく。このようにして、試験範囲の問題はすべて、自分の力で「ノート」に解いてみる。このようにして、試験範囲の第1回目の勉強を早めに終わらす。2回目は、間違えた問題だけをどんどん解いてみる。3回目は、1回目と2回目に間違えた問題をすべて解く。4回目は、1回目・2回目・3回目に間違えた問題をすべて解く。解くスピードがだんだん速くなることをお楽しみください。
  - (2) 英語・国語・理科・社会は、教科書をスラスラよく読めるようになるまで何回も何回も読み、全部覚えてしまうのが理想です。大切な語句は、何回も書く練習をして、正確に書けるまでにすることが理想です。特に大切な語句は、言葉の意味や定義をしっかりと覚え、書けるまでにする。数学は、教科書と問題集を何回も解き、計算や問題を見た瞬間に、条件反射で解答が出る計算や問題をできるだけ増やす。余った時間は、じっくり考える問題に用いること。
  - (3) 音楽は、楽器が演奏できる人は、教科書に出ている曲が自由自在に演奏できるまで練習する。歌が歌える人は、教科書に出ている曲が歌えるまで練習する。美術・技術家庭・保健体育も全部、ていねいにスミからスミまで身に着ける。
4. (1) 次は、入学試験までどうしたらよいかです。入試が2月初旬に集中している首都圏の私立中学校を受験する人は、試験までの2週間余り、一度解いた問題を全部解き直すのが第一。この分野だけはと絞りこみ、集中的に一つの分野、一つの教材・問題集をやりつくす。
  - (2) 大学独自入試の受験生は、勉強し残した分野を集中的に勉強するだけです。英語は、今からでも英字新聞を家庭で購読し、毎日1面から5ページくらいまで読むと、スピードが付きます。
  - (3) 1か月後の都立高校、1か月半後の栃木・茨城・群馬県立高校の受験生は、夜ぐっすり7時間くらい眠る時間以外は、本気で机に向かうのが第一です。受験全教科について、中学校3年間で学んだことをスミからスミまですべて「理解」し、「定着」、身に付けてから「高校に進学」するのが高校入試の「価値」、大切さです。
5. (1) 入学試験の中には、推薦入学試験があります。推薦入学試験には、必ず面接試験と論文試験(作文)があります。この面接試験と論文試験(作文)にどのように対処したらよいか考えましょう。
  - (2) 面接試験では、なぜこの学校への進学を希望するのか、志望動機がほとんどの学校で聞

かれます。一番よい解答は、自分の人生をどのように考えるのか、その貴重な人生をどのように過ごすのかを考えた上で、自分の人生をかけて取り組みたいことを達成する第一歩として、この進学を考えるというものです。この対策としては、学校の教科書や、学校や開倫塾の授業中に先生方がすすめてくれる「古典」と呼ばれる本を、じっくり1日30分以上の時間をかけて、著者と「時空を超える対話」をするようなつもりで熟読玩味し、自分のものにするのが一番です。「考えながら本を読む」ことです。気に入った文章や語句、考え方があったら、たとえ1行でも「書き抜き読書ノート」に書き写すことをおすすめします。面接試験の会場には、その「書き抜き読書ノート」を必ず持参して、試験直前まで目を通しておくことです。

(3) 面接試験の中で志望動機を述べるに際し、社会とのかかわりに触れないわけにはまいりません。では現在の社会をどのようにとらえているのか。新聞を毎日読み、社会の動きを知り、自分で考える力を身に付けておくこと、批判的思考能力を育てることは、面接試験に欠かせません。今からでも、毎日30分以上、新聞を1面からじっくり読むことをおすすめします。気になった記事は、切り抜くか書き写す。スクラップブックを作り、感想も書いておき、面接試験直前まで目を通すことです。

6. (1) 論文式(作文)の入学試験にはどのように備えたらよいか。

(2) 私が受けた論文式(作文)と面接の入学試験は、慶應義塾大学法学部法律学科の2次試験でした。1次試験は、各教科の筆記試験で2月18日にありました。1次試験合格者に課されたのが、3月5日か6日に行われた2次試験の面接試験と論文試験でした。面接試験では、試験官2人(教授ともう一名)が、志望動機と社会問題について10分くらい質問。論文試験の問題は大問が一題、「目的と手段について述べよ」でした。時間は60分、縦に線が引いてあるだけの論文用紙に、万年筆かボールペンで書くように指示がありました。鉛筆は禁止、鉛筆で書いたものは見ない、失格とのことでした。

(3) 自分がどんな準備をしたかは忘れましたが、幸い、小学校のクラス担任の先生に「小学校4年生になったら新聞を毎日読むように」と教えられて以来、毎日読んでいましたので、また、高校生の時には岩波新書や岩波文庫が大好きで、わかるわからないは別として、当時の高校生がよくやっていたように毎週1冊は読んでいましたので、時間いっぱい使って「論文式」の問題に答えることができました。

\*「目的と手段」は慶應義塾の創始者、福沢諭吉先生が取り組んだ「テーマ」の一つであったようです。

\*私立の学校を受験する時には、創始者の本は読んでおくとよいと思います。

7. (1) 今年の入学試験では、新型コロナウイルス感染拡大の出題がされる可能性は大です。面接試験や論文式(作文)の試験でも、聞かれたり出題される可能性があります。

(2) 新聞をしっかりと読み、自分の考えをまとめておきましょう。本日1月22日(金)の日本経済新聞朝刊、ペンネーム与次郎著「国債発行額、3倍増の重荷」大機小機は、現代日本の課題がよくまとまっており、参考になります。

(3) いいにくいことですが、文字が乱暴で読みにくいと、合格の可能性は低くなります。文字はていねいに、試験官が読んでわかりやすい文字で書く「練習」を。今からでも、試験当日まで、「硬筆習字」の練習をたとえ 1 日 10 分でもすることをおすすめします。自分の氏名はしっかり書けるよう練習を。これから、1 か月余りが勝負です。がんばりましょう。

2021 年 1 月 22 日(金) 7 時 30 分